



管内研お疲れ様でした！ ～ チーム浜鬼、力の限り ～

管内研に向けた長い長い準備、当日の授業や協議、本当にお疲れ様でした。授業に向け、何度も指導案を作成し、事前の授業から試行錯誤を繰り返した授業者の藤森先生、岡山先生、また、2人の研究授業のため、事前の準備に惜しむことなく力を貸して下さった浜鬼の先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

今回の管内研で一番素敵に感じたことは、先生方が自分たちで活発に意見を交わし、相談をしたり、意見を深め合ったりしているその姿です。正に「考えを伝え合い、根気よく、問いを解決する」という研究主題を私達自身が体現できていたと思います。周りの大人がその姿を示すことで、子ども達も自ずと成長していけるのかもしれないですね。



↓チーム浜鬼。
学校一丸となって
研究に臨んで下さり
ありがとうございました。

研究授業、協議をふいかえって ～ 管内研を経て、得た学びとは ～

【1・2年生 授業・協議の様子】

中山主査が、2年生が導入で練習プリントに取り組んだ後、自分たちで解決し合っている姿を絶賛していました。
「自分の疑問を友だちに問いかけられるようになることが、学び合いの始まりになる。これが大事なキーワードでした。」



【3・4年生 授業・協議の様子】



ワークシートやヒントカード、半具体物など間接指導時の手立ての充実が話題となりました。
教育大旭川校の谷地元先生からは、複式学級では、いかに子どもたちに「問い」を持たせるか工夫をすることが大切だという話がありました。

管内研アンケートより ～ あたたかいコメントが、たくさん届いています ～

※他のコメントについてご覧になりたい場合は山口まで

【1・2 年生】

一年生、2年生ともに、他の子の答えに引っ張られすぎずに自分の考えを主張できていたのが印象的でした。日頃から、担任の先生が何をいってもしっかり聞いてくれる、発表することを褒めてくれる環境があるから子どものそのような姿が見られたのだと思います。

また、ワークシートにヒントをつけていたのが印象的でした。私も次の授業から取り入れてみたいと感じました。一点、一年生の分け方について、3 つではなく、四角形をながしかくとしかくの2つに分けた 4 つ分類でもよかったのではと感じました。まために、はこの形とスペシャルなはこの形があったからです。

たくさんの学びのある授業を見せてくださりありがとうございました。お疲れ様でした。

複式で授業づくりは大変だとは思いますが、それぞれがうまく授業づくりをしているなと思いました。複式が好きなようで、何かあったら言って下さい。

本日は授業を見させて頂き、ありがとうございました。私は初任者で経験も浅く、複式の授業を見ることも初めてだったのですが、勉強になることが多かったです。まず、学習規律の定着がしっかりとされていると思いました。チャイム着席や、発言の仕方、机上の準備などとてもまとまりのある学級だと感じました。次に、2年生の子供主体の学び合いの姿が素敵だと思いました。私の学級では、グループワークをしても誰かは喋らなかったり、友達の意見を聞く姿勢がなっていなかったりとまだまだ子供主体になれていないです。しかし今日の藤森先生の授業では、同時間接の場面もあり、子供たちだけで主体的に学んでいました。今日学んだことを自分の学級にも活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

【3・4 年生】

・子供たちの実態に応じて教材やワークシートを用意されており、子どもを意識した授業づくりができています。

・エネルギーあふれる子どもたちがたくさんいます。前向きに学習に取り組もうとする姿がたくさん見られました。

・ゴールを見通した課題が豊富にあるなと思いました。

学力差を明らかに感じました。学級内全員の発表を受け入れながら、渡りの授業をする工夫で感銘をいただきました。

3年生は初めての複式授業で、今日はさらに普段と違う教室での授業を頑張っていたと思います。4年生は落ちついて授業に向かっています。

子どもの実態、発達課題により学習を進めていく大変さはあると思いますが、教材研究、教具の準備等がんばってください。

日々忙しい中、授業公開お疲れ様でした。研修に力を入れているのが伝わりました。

授業者は、複式が初めてだということでしたがわりと上手に行い、子供たちへ接していたと感じます。

また、子供たちが先生をまとめている様子もありました。そんな様子から日々の努力が見えました。授業に関しては、様々改善点出たかとは思いますが、今回、ここを重点に！というところがあったと思いますので、いきなり全てを取り入れたり考えたりするのではなく、少しずつ改善していけたらいいのかなと、聞いていて感じました。様々チャレンジした授業になったかと思うので、よかった点はそのままに、これからも頑張ってもらいたいと思います。

【今後の研修について】

10月11日(火) : チャレンジ SOYA 配信 (S サポート問題②/S トライ問題)
→11月18日(金)締め切り

10月21日(金) : classroom 実践交流
→管内研での取り組みを踏まえ、更なる研究事例の蓄積をお願いします。
終会で classroom にコメントの交流をしますので、見てもらいたい手立てやその際の児童の様子などを事前に準備しておいて下さい。

10月27日(木) : 研修日 (学級経営案第3節の反省/第4節の交流)
→節反省及び次節交流の準備をよろしくお願いします。

研究協議より ～ Jamboard を振り返ろう。どんな話し合いになっただろうか ～

1・2年生指導案交流

グループA

青 付箋 質問・代替案は 赤 付箋

1年生

みんなで協力して学習する力を育む

かごに分ける時に、正確を期しようとする動きが出た。指示がもう少し厳格な時の反応があると思った。

みんなそれぞれ、の考えでかごに分けることが出来ていた。

全員が発言する機会があり、子どもたちが進められていた。

1年生に指示を出しての指示は難しいかも。どちらかの学年に比重をかけてもいいかも

子どもたちが聴きあえる関係、力がついていた。

目標が達成できていた。

2年生

言葉（用語）を使って説明することができる。

先生についていなくても子どもが知っている。介入するタイミングは大切。学年毎、担任がいる時、サポートが必要

考える焦点が絞れていた。

キーワードを使って自分で説明することができていた

最後に時間ができてしまい、手持ち無沙汰になってしまった。

用語を意識するための発問が整理されていた。

かんげんくんの分け方は？

支援の先生に指示出しをしてもらうことで、時間の短縮を図るといいのでは。

支援の先生との打ち合わせを持つ

1・2年生指導案交流

グループB

良いなと思う活動は 青 付箋 質問・代替案は 赤 付箋

1年生

みんなで協力して学習する力を育む

先生がつかない時間でも、指示が出て行動することが出来ていた。

より効果的に、タブレットでもそれを活かすことができる。タブレットにしてノートを使わず、いつでも見直しができる。知る時間の短縮、次の学習にも活用して

2年生

言葉（用語）を使って説明することができる。

原稿紙、形を見るのができていた。様式の出しせ2年生は覚えてきてもらうこと。意見、フリースペース もあり

ワークシートは、良かった。授業者 ノートを使わせる理由。書けなかったら意味ないから結果的に子供が伸びればいから。例 ノートは計画、(知識技能の時)ワークシートは考えの時。

子どもたちが活動しやすいように。机をくっつけて話し合いができる形。

机や壁面を活用して子どもが活動できるように。ワークシートを準備。机をくっつけて話し合いができる形。

机や壁面を活用して子どもが活動できるように。ワークシートを準備。机をくっつけて話し合いができる形。

導入で失敗。連絡この授業この授業を同時できこまできてから問うのはせいでいいかも

様式の作り方を教える。1年生は、説明していき。2年生は、説明していき。1年生は、説明していき。2年生は、説明していき。

1年生は大変だな。様式は大変

連絡は必ずしていき。1年生は、説明していき。2年生は、説明していき。1年生は、説明していき。2年生は、説明していき。

活動中に子供が動けるようにしておくこと。机をくっつけて話し合いができる形。

欲張る必要はない。

後援にしないで引き渡していくのもいいかも

【1・2年生振り返り】

- ・1・2年生共に、「授業のねらい」を達成することができていた。
- ・「授業のねらい」の達成の理由について、①日常の藤森先生の手立てが良かったから、②ワークシート、発問の焦点が明確だったから、など
- ・支援の先生との打ち合わせも大切（渡り・間接の際の支援の動き、子ども達への指示の補助）
- ・評価の見取りや子どもの様子をよく見るために、同時間接で、どちらの学年にもつかずに、子どもの活動を見る時間に入れられると良い。
- ・1年生への指示は、複数あると難しい。2年生は指示での指示で直接の指示の重点を1年生に置くなど工夫すると良い。

3・4年生指導案交流

グループA

良いと思う活動は 青 付箋

質問・代替案は 赤 付箋

3年生

定型（決まった流れ）
に沿って、話し合いができる。

ペアで話し
合う様子が
見られた

ヒントカー
ドの手立て
が良かった

できる子とできな
い子の差があり、
交流の差に

児童の実態
に合わせた
ペア活動の
充実

ペア交流の
必要感を持
たせられる
と

読者の子が交流の
中で遠くに気づけ
るとよかった
→先生の適切な支
援

書き込んだワーク
シートを提示して
は？それをみて驚
く子もいるので
はないか

どう伝え
合うのが
示す

まとめの段
階で交流を
振り返る

説明をさ
せて活躍
の場面を

交流の流れの
見え
る化

交流した考
えを全体に
広げていく

4年生

自分たちで深め合える力を育む

支援員の
入り方が
良かった

学習の手順
がワーク
シートに書
かれていた

難しい課題
だが、話し
合いを進め
ていた

深めるが通ずる単
元・場面があるは
ず。割って取り入
れる

1番わかりや
すい説明は
誰が推薦

誰かの発言に反応
する交流が深まる
のではないか

聞き方を説明する
ことを様々な方法
を通して深める

まとめに至るまで
の手立て
読者や語り手を取
り上げる

3・4年生指導案交流

グループB

良いと思う活動は 青 付箋

質問・代替案は 赤 付箋

3年生

定型（決まった流れ）
に沿って、話し合いができる。

3年生は教科書を
見て取り組んでも
よかったのか。

課題とまとめの
色を覚えていた
のは、意図が
あったのか。

学習態度がどう
だったか。 読
者の準備など

話し合いか
ら一歩進め
るのが課題
だった。

色紙が1人なかつ
た。読者も含め
て考えさせたら
よかったのだ
け。

話し合い活動より
定型をしっかり
できるといえる
ようになるのが
大事なので

ノートを使っ
ていなかったの
はどうしてか。

単元によつ
てはノート
も使ってい
る。

話し合いは
できていた
と思いま
す。

お互いの話
を聞きなが
ら深めてい
た。

四捨五入、切り
捨てで切り上げが
子どもたちに傳
えていたのか。

前時の
振り返り

確認して、どう
してそうしたの
かを考えさせた
方がよかったの
では。

わたりがす
ごく上手
だった。

ICTの
活用

ワークシートの
活用 教師の意
図に合うように
できるが、毎回
の準備は大変

まとめのや
り方をどう
していくの
か。

【3・4年生振り返り】

- ・ 間接指導を進める手立てが充実しており、「授業のねらい」に迫ることができた。また、支援員からの助言により活動の活性化が促された場面があり、担任からの学習内容の共有が効果的であった。
- ・ 今回それぞれの学年で行った手立てを両学年で行うことができれば、話し合いや交流が充実し、間接指導においても自分達で課題に向かっていけるかもしれない。
- ・ タイムマネジメントが非常に上手く、活動がリズム良く進んでいた。
- ・ 複式学級ならではの難しさはあるが、考え方やまとめなどを子どもたちの言葉を引き出して反映させられるとさらに良かった。

3・4年生指導案交流

グループC

良いなと思う活動は 青 付箋

付箋

質問・代替案は 赤 付箋

付箋

3年生

定型（決まった流れ）
に沿って、話し合いができる。

半具体物
のお金が良い

テレビの
タイマー

九九のプリントを自分
たちで進められていた

ヒント
カードの役割

個別に問
題を用意
している

「書き進めてきたら
バツ」通
達の話し合いが
進んでいる

話し合いはしてい
たが、交流の仕
方にはまだ改善が
必要。

話し合いの
ゴール、何
ができたらい
いのか

家と家で
「九九で簡単に書
えが書ける」の
ところ

机上の整
理

進捗して
いた様子
があった

4年生

自分たちで深め合える力を育む

ワークシートの進
捗がスムーズに
なっていた。（古
籍の活用）

3人での意
見交流がで
きていた

ワークシ
ートに手順
がのっている

児童も対の意見
、教科書の活用
話し合いから進
める

教科書をも
とに個人で
考えられて
いた

プリントが
終わった後
の指示

問題、let's
系の意図
は？

ふく式の
アドバイス

学習リーダーの活
用（進め方の簡単な
お手本）

「びっくり
したい」
意図のよさ

3・4年生指導案交流

グループD

良いなと思う活動は 青 付箋

付箋

質問・代替案は 赤 付箋

付箋

3年生

定型（決まった流れ）
に沿って、話し合いができる。

「計算の仕
方」という
共通の理解
があった。

活発に表
現してい
た。

プリントの
全体の流れ
が分かりや
すかった。

話し合いの
定数はある
程度できて
いる。

算式では個人活動
の場にも活用が
見られる。

発表： 発表
が、 発表する
ことが大事では

子どもたち
が自分で発
表した方が
よかった。

文章を書いてから交流
した方が良
い

活動が止
まっていな
かった。

4年生

自分たちで深め合える力を育む

目的に合
わせた意図
の出し方が
理解できた。

指示がうま
く伝わっ
ていなかった
のでは？

目的と意図の出し
方と意図が2つ
あって理解するの
が難しかったの
では？

児童が説明して自
分の言うところを
どうも共有した方が
よかった。

【アンケート・タブレットの活用等より】

- ・アンケートそのものについては、紙、フォームどちらでの提出もあった。
- ・感想を頂いた方からは、タブレットでの研修に対して、概ね良い反応でした。まだ使いこなせていないことや話ながら入力することの難しさなどが意見として出ていました。Jamboard での協議は事前準備、事後の業務等、簡略化できる点で非常に便利だと感じます。後は、こうした研修の積み重ねから、より効果的な実践方法が開拓されていくと、より有意義で効率的な研修が進んでいくのではと感じます。

・タブログ活用なので、タブレットを使った研修スタイルは大変だ。

タブレットでの研修は効率化や可視化には有用だと感じました。一方で、全員が持っていないとなかなか難しかったり、話しながら入力しながら、は難しそうだなと感じました。

Jamboard を使った研究協議は初めてだったのでいい経験になりました。グループ協議の内容を共有できるし、協議後の記録も、わざわざ打ち直さなくて済むので楽そうだなと思いました。もっともっとこの方法が一般化されると、よりスムーズに始められていいなあと感じました。